

西山田留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

I 育成室の概要

(1) 児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 103人（うち配慮を要する児童7人）						教室数
内訳	1年	2年	3年	4年	5・6年	3教室
	31人	27人	30人	14人	1人	

(2) 受託事業者

特定非営利活動法人スローライフ（契約期間：令和6年4月～令和11年3月）

他に受託している育成室（吹二育成室、吹六育成室、江坂大池育成室）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	2
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	2
5	おやつの提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	3
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	3
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮を要する児童（障がいを有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートでは、ほぼ全ての項目で肯定的な回答が90%を超えている。特に「子どもは、育成室に行くのは楽しいと言っている。」「子どもは、育成室の活動や行事を楽しみにしている。」の設問では、全ての回答が「そう思う・少しそう思う」となっている。
- ③法人独自の取組である親子体操教室・親子球技大会など、様々なイベントや集団での遊びを工夫することで、児童が楽しんで利用することができている。また、一日保育時の昼食提供について、カレー昼食の実施やサンドイッチ・弁当の発注など、保護者連携及び保護者負担軽減にも大きく貢献していると評価できる。
- ④実施状況報告書からは、研修の参加実績が多く、職員の資質向上にも努めていることが読み取れる。